

# 未来を拓く科学大好き教育 通信

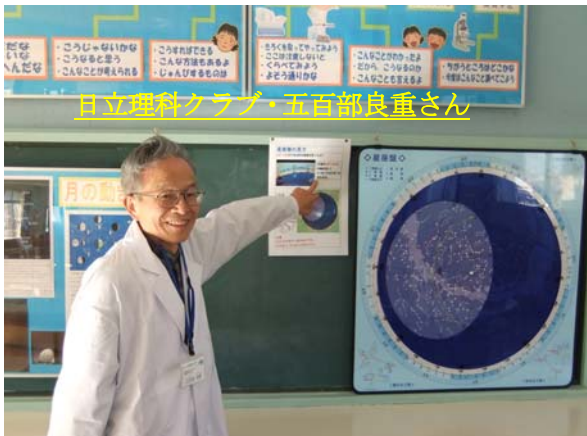
郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

## 「理科室のおじさん」を尋ねて

### その9 日立市立油縄子小学校



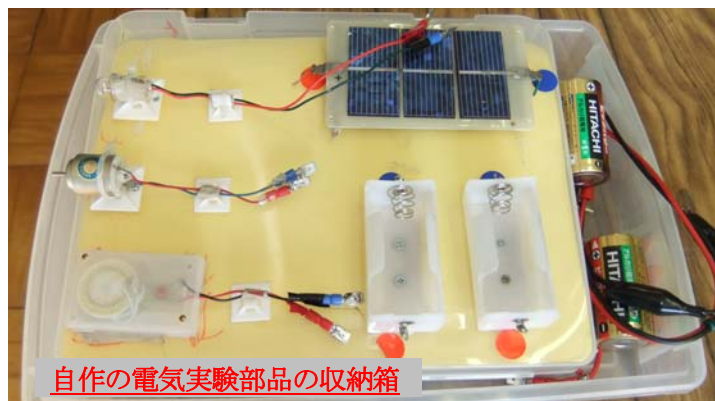
日立理科クラブ・五百部良重さん

油縄子小・理科室のおじさん五百部良重さんを尋ねました。五百部と書いて「いおべ」と読むそうです。出身は群馬県前橋市大前田ですが、姓の由来は栃木県足利市だそうです。

五百部さんは、日製日立工場に入社し水車発電機の構造設計、後に工業ロボットの開発設計を担当し、ガスタンクの表面の傷を発見するロボットや、地中に埋まっている配管を発見するロボットなどを設計したそうです。定年後はインドのムンバイ（昔のボンベイ）に渡り、電機機械の構造設計などの現地指導に携わったそうです。インドは、急成長している国の一つです

が、そのような国の下支えとして、日本人技師が努力しています。改めて日本の技術の高さを知り、敬服する思いです。インドのカレーは香辛料が豊富で、インドの味を堪能したと懐かしそうに話していました。

理科室のおじさんとして学校に関わるに当たっての信条として『年齢の高さは、資格でも権利でもない』と自分に言い聞かせ、扱い難い年寄りにならないよう心がけています。そして、学校の先生から『何でも頼まれる人になりたい』と思います。」ということでした。素晴らしい信



自作の電気実験部品の収納箱

#### 取説を分かり易いものに作成・自作



ね。」と、大きな目標を持っていて、とても張り切っていました。実際には難しい面もありますが、子どもたちのために、アイデアを生かして取り組んでいただけることを期待したいですね。

条を聞き、五百部さんの性格の一端に触れた気がします。

油縄子小学校には科学クラブがあり、科学実験のほかにもスライムや氷キャンデーなども作る活動をしているそうです。また、工作クラブでは、ビーズやフェルトを使ったもの作りもしているそうです。そのような活動にもこれから積極的に加わり、科学を通して子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと話していました。

今後は、児童の自然への関心を高めるために、「学校と協力して、観察池やミニ観察里山、ミニ観察野原などが実現できたらいいです

— 問い合わせ先 —

Tel 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一